



平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イグニス

コード番号 3689 URL <http://1923.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 銭 銀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 山本 彰彦

TEL 03-6408-6820

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	243	—	△101	—	△117	—	△89	—
26年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 △85百万円 (—%) 26年9月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	△14.79	—
26年9月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、第1四半期の業績開示を平成27年9月期より行っているため、平成26年9月期第1四半期の数値及び平成27年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 平成27年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	2,057	—	1,500	—	72.8	—
26年9月期	2,139	—	1,583	—	74.0	—

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 1,498百万円 26年9月期 1,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,314	61.9	1,000	78.1	1,000	83.5	600	93.6	99.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期1Q	6,078,500 株	26年9月期	6,038,900 株
② 期末自己株式数	27年9月期1Q	— 株	26年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期1Q	6,052,674 株	26年9月期1Q	— 株

(注) 当社は、第1四半期の業績開示を平成27年9月期より行っているため、平成26年9月期第1四半期の「期中平均株式数」を記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、日本銀行による大規模金融緩和策の追加実施、米国経済の堅調な回復などを背景に大きく円安・株高となり、一定の回復の兆しを見せております。しかしながら、急激な円安による原材料高及び個人の消費マインド悪化の懸念や、原油価格の急落に起因した産油国を中心とする経済不安を要因として、先行きが不透明な状況が継続しております。

当社グループの主要な事業領域である国内スマートフォン向けアプリ市場は、スマートフォンの国内普及件数が平成26年9月に6,248万件となり（注1）、国内携帯電話端末契約数の過半数を超えたことを背景として急速な拡大を続けております。国内スマートフォン向け広告市場については平成26年の市場規模が2,304億円に達する見込みであり、前年比で139.5%と予測されております（注2）。また、国内スマートフォンゲーム市場についても、平成26年の市場規模が6,584億円に達する見込みであり、前年比で120.4%と予測されております（注2）。

このような経営環境の中、当社グループは無料ネイティブアプリ（注3）において、市場競争力の基盤である617万人のMAU（注4）を背景とし、「だーばんコレクション」に代表される既存タイトルから広告収入を確保いたしました。

また、全巻無料型ハイブリッドアプリ（注5）では、平成26年9月より複数の漫画作品を一度に楽しめる当社グループ初のストア型漫画アプリの提供を開始しております。

なお、ネイティブソーシャルゲーム（注6）については、新作を開発中であり、課金収入の業績への貢献はありませんでした。

（注）1. 出典：株式会社MM総研[東京・港区]

2. 出典：株式会社CyberZ[東京・渋谷区]

3. ネイティブアプリとは、プログラムをApp StoreやGoogle Play等のプラットフォームを通じて端末にダウンロードして利用するアプリケーションのことであり、常時ネットワーク環境を必要とするブラウザアプリと比し、利用時のユーザーストレスが少ないことを特徴とするものであります。

4. MAUとは、Monthly Active Usersの略で、ある月に1回以上、アプリの利用があったユーザー数のことであります。

5. 全巻無料型ハイブリッドアプリとは、すべてのコンテンツを毎日30分無料で提供し、30分以降もコンテンツを楽しみたいユーザーは特定の話数を課金購入することで続きを楽しむことができ、収益源が広告収入と課金収入のハイブリッド型となっているアプリであります。

6. ネイティブソーシャルゲームとは、ネイティブアプリのうち他のユーザーとコミュニケーションを取りながらプレイするオンラインゲームのことであります。

当社グループはスマートフォンアプリ事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしていません。なお、ジャンルごとの取組みは以下の通りであります。

（無料ネイティブアプリ）

当社グループは従来、小規模アプリ（注7）を提供することで広告収入を獲得してまいりましたが、今後の広告収入拡大への足掛かりとして、当第1四半期連結累計期間より、アプリの開発体制を小規模アプリ中心の開発から、徐々に中規模アプリ（注8）、及び大規模アプリ（注9）の開発へと移行してまいりました。その影響から、当第1四半期連結累計期間の小規模アプリリリース数が従来と比べて減少するとともにMAUが減少したことで、広告収入が直前四半期と比べ減少いたしました。

また、平成26年10月にALTR THINK株式会社を買収し、コミュニケーション領域への事業拡大を図っている他、米国市場へのアプリ投入や台湾市場への進出など、海外展開を引き続き行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は237,334千円となりました。

（注）7. 開発期間が1ヶ月未満のものであります。

8. 開発期間が1ヶ月超、3ヶ月未満のものであります。

9. 開発期間が3ヶ月超のものであります。

（全巻無料型ハイブリッドアプリ）

平成26年9月より複数の漫画作品を一度に楽しめる当社グループ初のストア型漫画アプリとして、Google Playにて「全巻読破！海猿、ブラックジャックによろしく、新ブラックジャックによろしく、特攻の島」及び「全巻読破！ドラゴン桜、インバスターZ、エンゼルバンク、クロカン」の提供を開始いたしました。また、平成26年12月よりApp Storeにて、ストア型漫画アプリ「全巻解禁！キャプテン翼、地獄先生ぬ〜べ〜、JIN-仁-、臍〜孫子異伝〜 by

「グランドジャンプ」及び「全巻解禁！キャプテン&プレイボール」の提供を開始いたしました。各作品の配信期間終了後も、作品を入れ替えることでMAUの蓄積を図ってまいります。

また、引き続き20代から30代の世代を中心に馴染みのある漫画タイトルを提供するため大手出版社との交渉を進めておりますが、アプリ提供開始の遅れ等により、当第1四半期連結累計期間における広告収入及び課金収入は直前四半期と比べ減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は3,263千円となりました。

(ネイティブソーシャルゲーム)

平成26年9月30日付で既存タイトルであった「神姫覚醒!!マルチメイデン」を売却しており、また、当第1四半期連結累計期間において新規タイトルの「ぼくとドラゴン」は開発中であります。そのため、当ジャンルの配信アプリは無く、課金収入の業績への貢献はありませんでした。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は2,450千円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は243,047千円、営業損失は101,839千円、経常損失は117,378千円、四半期純損失は89,509千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,057,621千円となり、前連結会計年度末に比べ81,933千円減少致しました。流動資産は1,390,624千円（前連結会計年度末比500,803千円減）となりました。主な減少要因は、本社増床に伴う設備取得及び敷金の差入等により現金及び預金が263,035千円減少したこと及び売上高の減少により売掛金が275,116千円減少したことによるものであります。固定資産は666,996千円（前連結会計年度末比418,870千円増）となりました。主な増加要因は、本社増床に伴う設備取得等により有形固定資産が177,542千円増加したこと、敷金の差入等により投資その他の資産が218,833千円増加したこと及びALTR THINK株式会社の買収によるのれんが24,162千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は556,885千円となり、前連結会計年度末に比べ1,293千円増加致しました。流動負債は437,304千円（前連結会計年度末比105,511千円減）となりました。主な減少要因は、法人税等の支払いにより未払法人税等が196,267千円減少したことによるもの、主な増加要因は、運転資金の借入により短期借入金が170,000千円増加したこととあります。固定負債は119,580千円（前連結会計年度末比106,804千円増）となりました。主な増加要因は、本社増床により資産除去債務が91,804千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は1,500,736千円となり、前連結会計年度末に比べ83,226千円減少致しました。主な減少要因は、四半期純損失の計上により利益剰余金が89,509千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年11月13日に公表いたしました「平成26年9月期 決算短信」の内容に変更はございません。なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間より、平成26年10月16日付で発行済株式の100%を取得したALTR THINK株式会社について、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,203,584	940,548
売掛金	559,184	284,068
貯蔵品	12,588	16,269
その他	116,070	149,738
流動資産合計	1,891,428	1,390,624
固定資産		
有形固定資産	25,479	203,022
無形固定資産		
のれん	—	24,162
その他	41,209	39,541
無形固定資産合計	41,209	63,704
投資その他の資産	181,436	400,269
固定資産合計	248,126	666,996
資産合計	2,139,554	2,057,621
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,715	12,836
短期借入金	—	170,000
未払法人税等	256,775	60,508
その他	243,324	193,959
流動負債合計	542,815	437,304
固定負債		
長期借入金	—	15,000
資産除去債務	12,776	104,580
固定負債合計	12,776	119,580
負債合計	555,591	556,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	559,398	559,438
資本剰余金	558,398	558,398
利益剰余金	463,673	374,163
株主資本合計	1,581,470	1,492,000
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,491	6,155
その他の包括利益累計額合計	2,491	6,155
新株予約権	—	2,580
純資産合計	1,583,962	1,500,736
負債純資産合計	2,139,554	2,057,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	243,047
売上原価	164,233
売上総利益	78,813
販売費及び一般管理費	180,653
営業損失(△)	△101,839
営業外収益	
受取利息	2
雑収入	12
営業外収益合計	15
営業外費用	
支払利息	65
持分法による投資損失	15,395
雑損失	93
営業外費用合計	15,553
経常損失(△)	△117,378
税金等調整前四半期純利益	△117,378
法人税、住民税及び事業税	59,215
法人税等調整額	△87,084
法人税等合計	△27,868
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△89,509
四半期純損失(△)	△89,509

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△89,509
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	3,663
その他の包括利益合計	3,663
四半期包括利益	△85,846
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△85,846
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スマートフォンアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。